

【タマネギ】＊下線が引いてあるものは重要防除です。必ず防除を行いましょう。

## 病害虫防除 2月

○ベと病 卵孢子から、秋に感染した病原菌が、春2月以降に発病するため、継続的な予防剤の防除

ジマンダイセン水和剤 収穫前3日前5回 400倍 250g/水100ℓ

ダコニール1000 収穫前7日前6回 1000倍 100ml/水100ℓ

○黒腐菌核病 これまで黒腐菌核病が発生した本圃では薬剤防除が必要

パレード20フロアブル 収穫前日3回 2000倍 50ml/水100ℓ

## 【ジャガイモ】

2月中旬～3月上旬

### 畑の準備

○馬鈴薯専用配合052 10kg/a 重焼リン 2kg/a 植付けの半月前までに全面施用し混和しておく

### 種イモの準備と植付け

植付け前に、一片40～50gの大きさに切り、それぞれに芽がいくつかついていることを確認し、芽が集まっている頂部を切る。切った後2～3日程陰干しし切り口を乾かす

種イモ量の目安：15～16kg/a

そうか病 アグリマイシン-100 40～100倍

植付前 1回 5～10秒間種いも 浸漬

ネビジン粉剤 6kg/a 植付時 1回 全面土壌混和

○種イモの黒あざ病による腐敗防止 ベンレート水和剤

種イモ重量の0.3～0.4%をまぶすと良い (例) 3～4g/種イモ1kg

幅60㌢程の畝に深さ7～8㌢の溝を作り、種イモの切り口を下にして30㌢間隔に植付ける


※気温が高くなる場合には、種イモの萌芽が進みやすくなります。種イモは通気性の良い容器に移し替え呼吸熱がこもらないようにし、温度2～3℃の暗所で保管しましょう。また、種イモの呼吸量が増加すると黒色心腐が発生しやすくなります。発生防止のため温度管理を徹底し高温を避け、換気を十分に行いましょう。

農薬を使用する際は、適用作物・希釈倍数・使用回数・使用方法等の使用基準を遵守するとともに飛散防止に努め、ラベルをよく確認し、必ずラベルに基づいて使用しましょう。

## 病害虫情報・予報、JAメールマガジン登録等

神奈川県病害虫防除部が発表した病害虫情報・予報のリンクを掲載します。安全で安心な農産物が安定的に生産できるよう、県全域の病害虫の発生状況調査と病害虫情報の提供を行っています。

又、JAメールマガジン・JAネットショップ等、是非ご活用ください。

病害虫情報・予報(神奈川県)	JAメールマガジン登録	JA ネットショップ	JA 有害鳥獣被害届提出
二次元コード 	二次元コード 	二次元コード 	二次元コード 

## 柑橘剪定講習会開催について

標記のこと、2会場にて実施致しますので、ご参加をお待ち致しております。

### 会場①

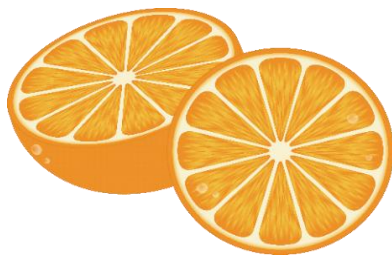
曾我・下曾我地区

開催日時

令和8年2月16日(月)

午後1時30分より

場 所：枝野吉光氏園地  
(小雨決行)



### 会場②

田島・国府津地区

開催日

令和8年2月17日(火)

午後1時30分より

場 所：野地孝雄氏園地  
(小雨決行)

